

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

## アフリカに関する重要情報

アフリカの教育機関への入学許可。南半球の教育機関の場合、奨学金支給期間の1月、2月、3月に勉学を開始できるよう準備してください。年の半ばの7月や8月に開始すると、宿舎の確保、ロータリー・クラブの活動との調整、奨学生向けの地域セミナーへの参加等が難しくなり、受入地区のロータリアンや教育機関に無用な手間をかけてしまうことになりかねません。北半球のフランス語圏の国々における大半の教育機関では、10月に正規の学年度が始まります。ケニア、ウガンダ、タンザニアにおいても同様です。

指定された教育機関に早目に連絡してください。入学許可を得るには忍耐力が必要です。大学の入学許可を得るまでに数カ月かかる可能性もあります。ときには教育機関とのコミュニケーションに支障が生じ、入学が許可されない奨学生もいます。このため、指定教育機関の他にロータリー財団承認の複数の教育機関に予備として願書を提出すべきです。財団承認の教育機関のリストには、少なくとも1つ、アフリカ以外の国を記入してください。

財団が要請している留学国の言語が母国語の場合、あるいはベルリッツ／TOEFLの試験に合格したため語学研修を必要としない奨学生は、必要であれば、1カ月間の現地方言の研修を要請することができます。この要請は、奨学生の留学期間開始の少なくとも5カ月前に申し出てください。この件に関心のある奨学生は、コーディネーターに連絡して詳細情報を請求してください。

個人間の関係を築くことは重要です。指定された教育機関と予備の教育機関の職員と、できる限り関係を築くようにしてください。課宛に問い合わせるより個人宛に問い合わせた方があなたにとって大きく有利になります。ロータリー財団から臨時連絡担当者であるロータリアンに関する情報を受け取ったら、このロータリアンとすぐに連絡を取ってください。出発前の期間、あなたの受入地区カウンセラーが正式に決定するまで、このロータリアンがあなたの力になってくれるでしょう。

通常、郵送物は届くまでに4週間、あるいはそれ以上かかる場合があります。ロータリーおよび大学と連絡を取る際は、できる限りファックスやEメールで通信するか、直接電話で話してください。

安全のために。アフリカに到着後、大使館や領事館であなたの現地での住所、電話番号、Eメール、緊急連絡先を必ず登録してください。大使館および領事館では、あなたが安全を心がけられるよう、旅行中の注意事項を提供し、緊急時における相談なども受け付けています。奨学生は全員、現地情勢や国際政治情勢に常に耳を傾け、外国を旅行中は注意を払うよう勧告されています。

受入地区内での現地交通手段。アフリカに留学する奨学生は、現地の交通手段が困難なうえに高額であることに気がつくでしょう。ロータリー財団では、奨学金の計算に留学国内での交通費を特に含めていません。奨学生は、月々の生活費や臨時費を現地での交通費に充てるよう求められています。受入地区での現地交通事情について具体的に知るために、同地区へ以前留学していた元奨学生と連絡を取るよう強く勧められています。現地での交通に関しては、自分で手配し、その費用を自己負担することになっているため、宿舎を探したり資金予算を組む際にはこのことを銘記しておいてください。

バナーの交換。受入地区とのバナーを公式に交換する可能性もありますので、あなたの派遣地区またはクラブの小型のバナーを持参してください。

ビザの発給。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

## 南アフリカに留学する奨学生のための情報

移民に関する懸念のため、南アフリカ大使館は、同国に入国する留学生が帰還保証金を納めることを義務づけています。大規模な組織から派遣される留学生はこの保証金の対象とならないため、ロータリーの奨学生は納入が免除されます。保証金の支払いを求められた場合には、担当の奨学金コーディネーターに連絡し、指示を求めてください。

参考資料。

Thompson, R.W. South Africa.

Sparks, Alistair. Mind of South Africa.

Finlay, Hugh; et al. Africa: A Lonely Planet Shoestring Guide. Lonely Planet Publishing, 2001. [www.lonelyplanet.com](http://www.lonelyplanet.com)

Lamb, David. The Africans. Vintage Books, New York, 1987.

Nydell, Margaret K. Omar. Understanding Arabs: A Guide for Westerners. Yarmouth, ME: Intercultural Press, 1997.  
<http://interculturalpress.com/shop/index.html>

Nwanna, Gladson I. Do's and Don'ts Around the World – Middle East: A Country Guide to Cultural and Social Taboos and Etiquette (International Traveler's Resource Guide). World Travel Institute Press, 1998.

Richmond, Yale and Gestrin, Phyllis. Into Africa Intercultural Insights. Intercultural Press, 1998.  
<http://interculturalpress.com/shop/index.html>

Gruere, J.P. et Morel, P. L'Afrique. Les aspects socio-culturels vus par les Français. L'Afrique Noire vue par les Français. Communications interculturelles. Groupe E.S.C.P, 1989.

<http://dir.yahoo.com/Regional/Countries> ; [www.africaonline.com](http://www.africaonline.com) ; [www.africanet.com](http://www.africanet.com) ; [www.lonelyplanet.com](http://www.lonelyplanet.com)

<http://www.702.co.za/> (これは、南アフリカ、ヨハネスブルグのニュースおよびトークのラジオ局の番組で、Windows Media Player で受信できます)

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

## オーストラリアに関する重要情報

1 学年度奨学生。オーストラリアの多くの大学院の学位取得プログラムは、3 学期間修了後に学位が授与されます。1 学年度奨学金は、2 学期分の費用しか支給されません。奨学生が 3 学期間オーストラリアに滞在する場合、3 学期目の奨学金は支給されませんので、自己資金で賄う必要があります。オーストラリアでは、(12 カ月に 3 学期という)3 学期制で運営されている教育機関もあります。しかし、ロータリーの奨学金は、2 学期分の費用しか支給しません。

大学への入学願書。指定された教育機関に直接に願書を提出してください。教育機関宛の通信には、すべて自分がロータリー財団国際親善奨学生である旨を明記してください。学位取得プログラムに申し込む場合、プログラムの全期にわたり勉学するという証明を提出しなければならない場合もあります。オーストラリアの多くの学位取得プログラムは、修了までに 14 カ月から 4 年を要します。あなたの奨学金が 1 学年度国際親善奨学金である場合は、奨学金は 9 カ月分しか支給されませんので、学位の取得を希望する人は、それ以降の在学期間の費用を自分で負担しなければなりません。学位取得を目的としない学生としての入学許可が可能かどうかを調べてください。

航空書簡がオーストラリアへ配達されるのに少なくとも 1 週間か 2 週間かかります。船便の場合は、さらに長くかかります。ファックスまたは E メールを利用すれば速やかにコミュニケーションができます。

開始日。あなたは正規の学年度に従わなければならないなりません。オーストラリアの教育機関の殆どは 2008 年 1 月から 3 月の間に学業を開始します。あなたは学業プログラムを 2007 年 7 月あるいは 8 月の 2 学期(年度半ば)から開始してなりません。一年のこの時期は部屋を見出すのが困難ですので、受入地区のロータリアンや教育機関に不必要な迷惑をかけることになるかも知れません。すべての奨学生は、2008 年 6 月 30 日以前に留学を開始しなければなりません、2007 年 7 月 1 日以前に留学を開始することはできません。

宿舎。オーストラリアのロータリアンは、奨学生が大学の寮を利用することを特に要望しています。大学の寮は、出発前に手配する必要があります。受入地区のカウンセラーには、あなたが大学の寮に入室できるまで一時的に部屋を提供する義務はありません。宿舎の用意が整う前に到着した場合、自分で宿泊の費用を負担することになります。

ビザの発給および義務づけられている保険加入。ロータリー財団国際親善奨学生は、学費全額支給学生とみなされています。ビザを取得するために、下記の指示に従い、出発の少なくとも 4 カ月前までに最寄りのオーストラリア大使館／領事館に連絡してください。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

### 英語能力試験

英語が母国語ではない奨学生は、オーストラリアへの留学ビザを取得するために、IELTS の得点が必要とされています。TOEFL の得点は認められていません。IELTS の代わりに TOEFL の得点を提出することに関しては、母国のオーストラリア領事館に尋ねてください。ロータリー国際親善奨学生は、出発前に提出が義務づけられている書類として、TOEFL の得点ではなく IELTS の得点をロータリー財団に提出することになります。

Overseas Student Health Coverage(OSHC)の保険料を支払うために、国際為替手形で年間およそ 500 オーストラリア・ドルを指定教育機関に送付しなければなりません。奨学金にはこの保険料は含まれていません。オーストラリアのビザを取得するためには、この健康保険への加入が義務づけられています。従って、ロータリーの最低条件を満たすために、追加の保険に加入することが必要です。また、OSHC は緊急隔離、遺体送還、あるいはオーストラリア以外、例えば、奨学金期間の開始前や終了後の自国と留学国間の旅行中に生じた医療費には充当されません。あなたから OSHC の保険料を受け取り次第、指定教育機関が Certificate of Enrollment(入学証明)を発行し、これがあなたの入学許可の証明となります。この証明書をビザ申請書に添えてオーストラリア大使館または領事館へ送ってください。Certificate of Enrollment が受理されるまで、ビザは発行されません。

授業料の前納。通常、奨学生には大学から **Full Offer Letter** (入学許可書) が送られます。奨学生はこの書状に署名し、1 学期分の授業料と **OSHC** の保険料とを共に返送しなければなりません。しかし、署名済みの書状を返送する際に、財団奨学生が提出する必要があるのは次の書類のみです。

- **OSHC** の保険料
- ロータリー財団からの **Letter of Financial Guarantee** (財務保証書状) の写し
- ロータリー奨学生はオーストラリアに到着するまで奨学金を受領することができないため、到着後に授業料および宿泊費の全額を支払うことを大学側に告げる書簡
- オーストラリアに到着する前に学費や宿舍のための少額の前納金を大学側が要請した場合、オーストラリアで奨学金資金を受領するまで、あなたがその費用を立て替えなければなりません。

参考資料。

Renwick, George. *A Fair Go for All: Australian and American Interactions*. Yarmouth, ME: Intercultural Press, 1991.

Sharp, Ilsa. *Australia*. SB Graphic Arts Publishing, 2002.



參考資料。

Miles, Rebecca. Eyewitness Travel Guide to Brussels (Bruges, Ghent, and Antwerp). DK Publishing, 2000.

Shilling, Marvinna Andrus. Update Belgium. Intercultural Press, 1988.

Anselot, Noël. Ces Belges qui ont fait la France. Ed. France-Empire, 1982.

Hill, Richard. We Europeans. Europublications, Bruxelles, 1993.

Barzini, Luigi. The Europeans. Penguin books, 1983.

Lonely Planet guide to Belgium

Lonely Planet guide to Brussels

[http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title\\_pages/CSBEL.asp](http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title_pages/CSBEL.asp)

[www.belgium.com](http://www.belgium.com)

[www.lonelyplanet.com](http://www.lonelyplanet.com)

[www.tiscali.be](http://www.tiscali.be)

[www.belgium.be](http://www.belgium.be)

[www.agers.cfwb.be](http://www.agers.cfwb.be)

[www.bruxelles.irisnet.be](http://www.bruxelles.irisnet.be)

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

## カナダに関する重要情報

学年度。カナダの大学院課程の多くは、学位の取得に 12 カ月あるいはそれ以上を必要とします。1 学年度国際親善奨学生には、教育機関の正規の学年度(通常 8 カ月)の費用しか支給されません。従って、指定教育機関あるいは受入国で追加の日を過ごす場合、その期間は自己負担しなければなりません。ロータリー財団は 3 学期ではなく 2 学期分の費用しか支給しません。往復航空券は旅行開始日から 12 カ月間のみ有効です。

学費の前納と諸費用。カナダへ到着する前に学費の払い込みを指定教育機関から要請された場合、ロータリー財団奨学生としてカナダに到着してから奨学金を受領するため、前納はできないという旨を説明してください。奨学金の支給証明として財政能力証明書 (Letter of Financial Guarantee) のコピーも提出してください。それにもかかわらず学費の前納を要求された場合は、まずは自己資金で支払ってください。財団は、あなたが当該教育機関に入学した場合のみ、前納額を奨学金に含めて弁済します。

ケベックで勉学するよう指定された奨学生カナダの学生ビザを申請する前に、Certificat d'acceptation du Quebec (CAQ) を入手する必要があります。

「(ケベック留学のための受入認定の申請書式)」に記入しなければなりません。オンラインで入手したものか、または 2006 年 1 月以降に印刷されたもののみが**有効な書式**となります。それ以前の書式を使用した場合、申請手続きに遅れが生じることがあります。申請書は、<http://www.immigration-quebec.gouv.qc.ca/publications/en/form/DCA-etudes-dynamique-en.pdf> からダウンロードすることができます。申請書に記入の上、以下の宛先まで送付してください。

Ministère de l'Immigration et des Communautés culturelles

Service aux étudiants étrangers

285, rue Notre-Dame Ouest, rez-de-chaussée, bureau G-15

Montréal (Québec) H2Y 1T8

電話: 514 864-9191、ファックス: 514 864-3825、ウェブサイト: <http://www.immigration-quebec.gouv.qc.ca/en/index.asp>

CAQ とカナダの学生ビザの取得に十分な時間的余裕が持てるよう、早目に手続きを開始してください。

モントリオールで勉学するよう指定された奨学生。モントリオールでの留学を指定され、母国語がフランス語でも英語でもない場合、ロータリー・ベルリッツまたは TOEFL のテストを受け(詳細については奨学生要覧を参照)、いずれかの言語の語学力を証明しなければなりません。フランス語も英語もモントリオールで広く使われていますから、両方の言語を知っていれば、親善使節として力を存分に発揮できるでしょう。従って、ロータリー財団は、1 学年度奨学生が留学する前に、いずれかの言語で 1 カ月の集中語学研修を受ける費用を支給する場合があります。例えば、あなたの母国語が英語なら、ケベックでフランス語の語学研修を 1 カ月間受けられる場合があります。但し、その場合、奨学金支給開始前に、フランス語を学んだ経験が必要です。詳細については、担当の奨学金コーディネーターにお問い合わせください。

ビザの発給。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

## 参考資料

International Students Handbook - 5th Ed. Ottawa, Ontario: Canadian Bureau for International Education (CBIE), 1993.

Study in Canada. (<http://www.studyincanada.com>)

宿泊、保険、および教育機関ならびにカナダとその教育制度に関する一般情報を含む、外国人留学生のための情報。英語、フランス語、スペイン語および日本語で入手可。

(裏面に続く)

**宿泊、保険、教育機関、カナダとその教育制度に関する一般情報など、外国人留学生のための情報(英語、フランス語、スペイン語、日本語)。**

Canadian Bureau for International Education. (<http://www.cbie.ca>)

英語、フランス語およびスペイン語での移民に関する情報を含む、国際留学生のための情報。

Association of Universities and Colleges in Canada. (<http://www.aucc.ca>)

外国人留学生のための各カレッジと大学に関する一般情報。英語およびフランス語でリンクできます。

Citizenship and Immigration Canada. (<http://www.cic.gc.ca>).

英語とフランス語による外国人留学生のための移民必要条件に関する情報。

About Canada. ([http://www.canada.gc.ca/canadiana/cdaind\\_e.html](http://www.canada.gc.ca/canadiana/cdaind_e.html))

カナダに関する一般情報(英語とフランス語)。

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舍、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

## エジプトに関する重要情報

American University in Cairo (AUC) への留学を指定された奨学生。全奨学生は、大学での正規の教科課程に申請しなくてはなりません。ロータリー1 学年度およびマルチ・イヤー国際親善奨学金は、提携しているアラビア語学学院で全日のアラビア語および文化の授業を受けるために使用するべきものではありません。記入した申請書は必ず直接 AUC のニューヨーク校に送ってください。オンラインでの申請は**行わないでください**。オンラインで申請した場合、ロータリーの奨学生として認識されず、ロータリー財団ではなく、奨学生に支払いが請求されます。また、財政能力証明書 (Letter of Financial Guarantee) を申請書 (願書) と申請料に添えて提出してください。AUC はロータリー奨学生の学費の前納を免除し、学費、「学生サービス」料および「医療」費のみを直接ロータリー財団に請求します。AUC の「総合保険」に加入する場合は自己負担となります。

The American University in Cairo  
Office of Student Affairs  
420 Fifth Avenue, Third Floor  
New York, NY 10018-2729 USA  
電話: (212) 730-8800  
ファックス: (212) 730-1600

1 学年度奨学生は、申請すれば、学年度が開始される前に、財団の負担による 1 カ月の集中アラビア語コースを受けることができます。AUC は 1 カ月の集中コースを提供しないため、カイロの他の場所を探してください。財団は、国際語学協会 (International Language Institute) ([www.arabicegypt.com](http://www.arabicegypt.com)) をお勧めします。AUC における指導は英語で行われるため、英語を母国語としない 1 学年度奨学生は、TOEFL を受け、合格し、英語力を証明する必要があります。AUC への入学許可を申請する際、すべての通信に自分はロータリー財団国際親善奨学生であることを明示してください。

エジプトの他の教育機関に指定された 1 学年度奨学生。授業を受けるためにアラビア語が堪能であることを要求する教育機関への入学を申請する 1 学年度奨学生は、入学前にロータリー・バルリッツ試験に合格しなければなりません。ロータリー財団および派遣ロータリー地区が認可すれば、受入国で財団が費用を支給する追加の語学研修に申し込むことができます。学業年度が始まる前に、エジプトで 1 カ月間のアラビア語コースを受けることを希望する場合、奨学金コーディネーターに連絡し、詳細を入手してください。あなたは、語学研修および正規の授業の授業料に関するすべての情報を奨学金コーディネーターに報告する責務があります。

文化研修奨学生。エジプトに留学する文化研修奨学生は、AUC のアラビア語学院に入学します。6 カ月の文化研修奨学生は、エジプトに 6 カ月滞在するため、春学期に学業を開始し続いて夏期講座に登録するか、もしくは夏期講座と続く秋期講座に登録することになります。ロータリー財団は、6 カ月の文化研修奨学生に対し、夏期講座および 1 学期分の授業料、6 カ月分の部屋代と食費を支払います。3 カ月の文化研修奨学生は、アラビア語の語学学校に秋学期あるいは春学期の登録をします。ロータリー財団により 1 学期分の全授業料が支払われた場合でも、3 カ月の文化研修奨学生のための奨学金は、3 カ月分の部屋代と食費にしか充てられませんのでご注意ください。3 カ月あるいは 6 カ月の奨学金期間を超えてエジプトに滞在することを希望する文化研修奨学生は、奨学金支給期間後の費用を自己負担しなければなりません。

ビザの発給。学生ビザを取得するための必要条件を地元のエジプト領事館にお問い合わせください。特定の国々の奨学生は、エジプトに入国する前に学生ビザを取得する必要がない場合もあります。この奨学生たちは、入国ビザで入国し、入学後に長期の学生ビザに切り替えることができます。入国ビザの取得資格がある場合は、エジプトに出発する前にビザを取得することをお勧めします。ロータリー財団に提出するため、少なくとも出発の 2 カ月前に発行してもらうようにしてください。このビザは、エジプトで学生ビザが下りるまで有効となります。その他の奨学生は、エジプトに入国する前に通常通り学生ビザを取得する必要があります。いずれの場合も、エジプトで勉学する全期間において学生ビザを確保する必要があります。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

(裏面に続く)

安全のために。エジプトに到着後、大使館または領事館であなたの現地での住所、電話番号、Eメール、緊急連絡先を登録しなければなりません。大使館および領事館では、あなたが安全を心がけられるよう、旅行中の注意事項を提供し、緊急時における相談なども受け付けています。奨学生は全員、現地情勢や国際政治情勢に常に耳を傾け、外国を旅行中は注意を払うよう勧告されています。

EGYPT07JA

参考資料。

Nydell, Margaret K. Omar. Understanding Arabs: A Guide for Westerners. Yarmouth, ME: Intercultural Press, 1997.

Nwanna, Gladson I. Do's and Don'ts Around the World – Middle East: A Country Guide to Cultural and Social Taboos and Etiquette (International Traveler's Resource Guide). World Travel Institute Press, 1998.

Wilson, Susan L. Culture Shock! Egypt. SB Graphic Arts Center Publishing, 2002.

[www.mfa.gov.eg](http://www.mfa.gov.eg) (外務省のウェブサイト – エジプト・アラブ共和国にリンク)

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舍、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

## フランスに関する重要情報

入学許可。フランスの多くの公立大学は、フランス語を母国語としない人のための学業プログラム (*études françaises pour étudiants étrangers*) を提供しています。このプログラムは実質上、1年の語学研修で、語学研修と文化、地理、人類学、歴史、政治学などの補足コースを組み合わせたものです。1学年度およびマルチ・イヤー奨学金を、このプログラムに使用するべきではありません。フランスの国立大学に願書を提出する場合、第一周期 (*premier cycle*)、第二周期 (*deuxième cycle*)、第三周期 (*troisième cycle*) のいずれかに申し込むようにしてください。

第一周期(フランスの大学で最初の2年間に相当)に申し込む場合、母国の最寄りのフランス大使館または領事館を通じて入学を申請しなければなりません。申請締切日は、通常1月か2月です。すぐに願書を入手し、手続きを開始してください。この締切日に間に合わない場合、指定された大学での正規の客員学生となることができるかどうかを調べ(1学年度奨学生の場合)、あなたの奨学金コーディネーターに連絡して、このような代わりの留学方法が取れるかどうかを相談してください。8月は夏季休暇のため、ほとんどの大学が休校になります。指定教育機関から入学許可書 (*confirmation d'inscription*)、または大学の教授から、大学名入りの便箋に、あなたの学業を学部で指導することを確認する書簡を8月以前に出してもらおうよう要請してください。この書類で、8月にビザの申請をすることができます。

あなたがフランスの国立大学の第二周期 (*deuxieme cycle*) か第三周期 (*troisieme cycle*) のどちらかに願書を提出している場合、公式の入学許可書は、留学開始直前まで取得できない場合もあるということに留意してください。従って、財団は、あなたの入学手続に関して、指定教育機関から受け取った "*attestation de pre-inscription*" か、あなたの勉学を指導する旨を記した教授からの手紙などの書類のコピーを提出するようお願いしています。

フランスにおける学年度の開始。フランスにおける学年度は9月または10月から開始します。学年度の間である1月開始日を許可するフランスの大学は、ほとんどありません。従って、指定教育機関(または財団承認の大学)で秋学期に入学する勉学プログラムへの許可を取得していない奨学生は、他の国で勉学できる予備の教育機関を調べる必要があります。この条件は、開始日に融通の利く研究奨学生には当てはまらないことにご留意ください。同様に、8月下旬までにベルリッツ語学力試験に合格していない1学年度奨学生は、奨学金を失う可能性があります。このため、奨学生はできる限り早くベルリッツ語学力試験を受けるよう奨励されています。

フランスへの入国。出発前に取得しなければならない学生ビザのほかに、フランスの学生として「滞在許可書」 (*carte de séjour*) が必要になります。フランスに到着して数日以内に、あなたは、ビザ申請に必要とされていた全書類のコピーを現地の警察に提出し、滞在許可書の発給を申請しなければなりません。保険に加入し、健康診断を受けた証明書も必要です。地元のフランス領事館で必要書類を尋ね、フランスにこれらの書類のコピーを余分に携行してください。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

国民保険。フランスに到着したなら、大学側から *Securité Sociale* (フランスの国民保険) に加入するよう要請されます。しかし、フランスの国民保険は、ロータリー財団の保険要件を満たしていません。フランスに到着するまでの期間と帰国するまでの旅行の保険が含まれていないだけでなく、緊急医療の輸送および遺体の本国送還に対する支払いも含まれていません。必要な場合は、臨時費をこの費用に充ててください(通常175ユーロ)。

交通手段。フランスへ指定されたすべての1学年度および文化研修の奨学生で、*RITS* を通じて旅行の手続きをされた方は、パリへ到着します。指定教育機関がパリでない場合は、目的地まで列車で行かなければなりません。ロー  
(裏面に続く)

ロータリー財団はパリから目的地までの列車での往復費用 (*TGV* の二等車) を払い戻します。列車の乗車券はオンラインの [www.sncf.fr](http://www.sncf.fr) あるいは [www.raileurope.com](http://www.raileurope.com) で予約することができます。

宿舍。フランスでは、6カ月、または1年単位でアパートを借りることができます。アパートを確保するために払い戻し

がきく家賃の3 カ月分を敷金として払うことになるかもしれません。したがって、アパートを確保したい場合は、事前にできるだけ早くアパートについて調べ、自己資金をフランスへ持参することをお勧めします。これは、奨学金を受領する前に手配した方がよいかもかもしれません。指定目的地がパリの場合、受入地区カウンセラーに事前に連絡し、部屋を探す支援を求めることをお勧めします(下記に記した「パリで住居を探すためのコツ」も参照してください)。入学を申請している大学のInternational student offices(留学生担当課) および母国のフランス領事館は、住居に関して役立つ情報源となります。フランスに到着して滞在許可証(carte de séjour)を取得したら、住居費に対する資金援助を受けるためにCAF(Caisse d'Allocations Familiales)に申請することができます。

フランスの学友会。Association des Boursiers de la Fondation Rotary は、フランスに住む元ロータリー奨学生の学友会です(下記のウェブサイト・アドレスを参照)。Association は、毎年、フランスのロータリー地区と協力して、フランスに留学中のすべてのロータリー奨学生のためにいくつかの行事を主催しています。最初に予定されている行事は、通常、9月末ごろにパリで開催される週末の歓迎会です。すべてのロータリー奨学生は、奨学金留学のためにフランスに既に到着している場合、この行事への出席が義務づけられています。

あなたは、Association からこの組織と活動に関する詳細の説明を受けることでしょう。これらの活動にあなたの臨時費の一部を充てることができます(1 学年度および文化研修奨学生の場合)。フランスに留学した元ロータリー奨学生は、しばしば、学友会や他のロータリー奨学生と過ごした時間がフランス滞在中で最も楽しい時であったと述べています。

参考資料。フランス留学に備え、出版物のI'm going to France を読んでください。地元フランス領事館に注文するか、または書面でThe Center International des Etudiants et Stagiaires (CIES), 18, rue de la Grange-aux-Bells, 75010, Paris に注文してください。

Brame, Genevieve, *Living And Working in France 'Chez vous en France*. Kogan Page, 2001 & 2004.

Daley, Robert. *Portraits of France*. Boston: Little, Brown, and Co., 1991.

Platt, Polly. *French or Foe?: Getting the Most Out of Visiting, Living, and Working in France*. Yarmouth, ME: Intercultural Press, 1995.

Hall, Edward T. and Hall, Mildred. *Understanding Cultural Differences (Germans, French and Americans)*. Intercultural Press, 1990.

Bernstein, Richard. *Fragile Glory, a Portrait of France and the French*. Ed. Alfred A. Knopf, New-York, 1990.

Zeldin, Théodore. *Les Français*. Points actuels, Seuil, 1983.

Merk, Vincent und Browaey, Marie-Joëlle. *Frankrijk*. Wolters-Noordhoff Groningen, 1992.

Hill, Richard. *We Europeans*. Europublications, Bruxelles, 1993.

Barzini, Luigi. *The Europeans*. Penguin books, 1983.

Gopnick, Adam. *Paris to the Moon*. Random House Trade, 2001.

Gopnick, Adam. *Americans in Paris: A Literary Anthology*. Library of America, 2004.

-[www.education.gouv.fr](http://www.education.gouv.fr)

-[www.recherche.gouv.fr](http://www.recherche.gouv.fr)

-[www.yahoo.fr](http://www.yahoo.fr) (click on 1. Enseignement et Formation, 2. Enseignement Supérieur, 3. Ecoles, Universités et Facultés)

-<http://www.info-france-usa.org/>

-<http://french.about.com/>

-[www.doucefrance.com](http://www.doucefrance.com)

-[www.france-universite.net](http://www.france-universite.net)

-[www.afusa.org](http://www.afusa.org) (Alliance Francaise USA)

パリで住居を探すコツ:-[www.fusac.fr](http://www.fusac.fr) (パリに住む英語が通じる人との連絡先:住居探しのコツ)

パリ南部の安い宿舎は、Cité Universitaire で探す

パリの「米国系教会」の住居探し掲示板

受入れクラブの不動産業者と連絡する

- [www.caf.fr](http://www.caf.fr) 資金援助に関するサイト

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

### ギリシャおよびキプロスに関する重要情報

語学力の条件。ギリシャまたはキプロスに留学を指定された奨学生は、ほとんどの教育機関における授業がギリシャ語で行われるため、ある程度の現代ギリシャ語の能力が要求されます。授業を英語で行っているギリシャまたはキプロスの教育機関に留学する場合、奨学生は、英語とトルコ語両方の言語能力の証明を提出しなければなりません。トルコ系キプロスにはロータリー・クラブがないため、留学が指定されるのはギリシャ系キプロスのみに限られます。

ロータリー財団および派遣ロータリー地区が認可すれば、受入国で財団が費用を支給する追加の語学研修に申し込むことができます。学業年度が始まる前に、ギリシャまたはキプロスで 1 カ月間のギリシャ語コースを受けることに興味がある場合、奨学金コーディネーターに連絡し、詳細を入手してください。

ビザの発給。すべての学生は、学生ビザが必要です。ビザ手続に関する情報は、最寄りの領事館に連絡し、入手してください。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

安全のために。留学先の国に到着したなら、大使館または領事館で現地の住所、電話番号、E メール、緊急連絡先を登録すべきです。大使館および領事館では、あなたが安全を心がけられるよう、旅行中の注意事項を提供し、緊急時における相談なども受け付けています。奨学生は全員、現地情勢や国際政治情勢に常に耳を傾け、外国を旅行中は注意を払うよう勧告されています。

参考資料。

Broome, Benjamin. Exploring the Greek Mosa. *A Guide to Intercultural Communication in Greece*. Intercultural Press, 1996.

Rawlins, Clive L. Greece. SB Graphic Arts Center Publishing, 2002.

<http://www.greekembassy.org/> (米国内のギリシャ大使館)

<http://www.greece.gr/> (ギリシャに関する一般情報)

<http://www.ana.gr/> (アテネのニュース局)

[http://www.learningenrichment.org/greece\\_stud.html](http://www.learningenrichment.org/greece_stud.html) (ギリシャの学生事情)

<http://www.embassyworld.com/embassy/cyprus1.htm> (世界中のキプロス大使館)

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

## インドに関する重要情報

インドの教育機関への入学許可。入学許可を得るには、忍耐力と根気が必要です。できるだけ早く受入地区のロータリアンに連絡してください。受入地区のロータリアンが、入学許可や宿舎に関してあなたを援助することができるかもしれません。郵便書簡は、届かないことがしばしばあります。必要書類を揃えるには、電話、ファックス、Eメール、インドの連絡担当者などを利用するのがよいでしょう。願書を提出すれば、予定通りに入学許可書が自動的に発行されるものと思いたまないことです。具体的な返答を得るまで、電話で連絡を取り続けてください。指定教育機関のほかに、複数の教育機関に願書を提出し、最終的に決定される教育機関については柔軟に対応してください。あなたの出発の準備を援助してくれる奨学金コーディネーターと連絡を密にしてください。大学は7月下旬に始まりますので、直ちに申請手続きに本腰を入れて取り組んでください。

ビザ。インドで研究を行うことを希望する奨学生には、特別ビザの取得が要請されます。この特別ビザは通常の学生ビザよりも手続に時間がかかり、提出書類も多くなります。インド研究の米国協会(American Institute of Indian Studies)は、このビザの必要事項に関する情報を提供してくれる役立つ援助源となります。同協会のウェブサイトは<http://www.indiastudies.org/>です。

ビザの申請に関する指針は、[http://www.indianembassy.or/consular/visa\\_guide.htm](http://www.indianembassy.or/consular/visa_guide.htm)を参照してください。最寄のインド領事館/大使館に関する情報を入手したい場合は、このウェブページ<http://www.indianembassy.org/links/indialinks.htm>から、「Web Sites of Indian Missions」と言う表題のリンクをクリックしてください。重要:ビザが裏書されていることをあなたの留学教育機関に確認してください。インドではこの手続きを踏み忘れた場合、問題になりますが、到着後指定教育機関の力を借りれば、訂正することはできるはずですが、学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

語学力の条件。奨学生は、TOEFLで、コンピュータ・テストで最低173点、筆記テストで500点を獲得しなければなりません。親善使節としての任務をよりよく果たすために、奨学生は、留学する地域により、ヒンズー語、ウルドゥー語、その他14の公式言語のいずれかで受講する計画を立てなければなりません。

ロータリー財団および派遣ロータリー地区が認可すれば、受入国で財団が費用を支給する追加の語学研修に申し込むことができます。

貨幣の制限。インドには貨幣制限があることに留意してください。自国でのクレジットカードやその他の請求書を支払うため、インドからルピアを送金することは不可能です。奨学金は出発前ではなくインドに到着後、他の国の貨幣ではなくルピアで支給されますので、クレジットカードおよびその他の支払いはその積もりで予算を立ててください。

通信手段。通常郵便は、目的地に届くまで4週間かかる場合もあります。直接電話できない場合、ファックス、Eメールで通信してください。しかし、インドの多くの地方では、しばしば「電圧低減」により、電子通信が一時停止されることがあります。

飛行。インドでは、出入国が最も多いのは11月から2月にかけてです。この時期に、インドへ出入国する場合は、空席が通常より少ない可能性があるため旅程に柔軟性を持たせ、準備をしてください。

(裏面に続く)

参考資料。

Kolanad, Gitanjal. Culture Shock: India. (Culture Shock guides) June 2001.  
[http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title\\_pages/CSINR1.asp](http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title_pages/CSINR1.asp)

Naipaul, V.S. A Million Mutinies Now, Viking Penguin. 1991

Tharoor, Shashi. India: From Midnight to the Millennium. 2001

Tharoor, Shashi. The Great Indian Novel. 1993

<http://humanities.uchicago.edu/orgs/aiis/hp.htm>

(研究を目的とした奨学生のために)

<http://www.indiagov.org/culture/iccr/studyinindia.htm>

[www.lonelyplanet.com](http://www.lonelyplanet.com)

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

### シンガポールおよび香港に関する重要情報

語学力の条件。奨学生は TOEFL で、新設のインターネット・テストで最低 61 点、コンピュータ・テストで 173 点、筆記テストで 500 点の成績を上げなければなりません。香港の場合は、広東語や中国語(北京官話)が堪能であることが認められ、奨励されます。

ロータリー財団および派遣ロータリー地区が認可すれば、受入国で財団が費用を支給する追加の語学研修を要請することができます。

支払い。香港とシンガポールでは留学生在が銀行口座を開設するのが難しいため、**香港とシンガポールに留学する奨学生への奨学金支給は、両国とも、電子送金によって奨学生の母国の銀行口座に母国の通貨建てで送金されます。**

シンガポールでは、大学の寮を確保するのは難しい場合がありますので、入学願書を提出する際に寮を予約するとよいでしょう。シンガポールの大学は、7月下旬か8月初旬に開始しますので、直ちに申請手続きを開始するよう奨励されます。

ビザの発給。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

参考資料。

Brooks, John W. The Pacific Rim.Passport Pal; \$29.95.

フリーダイヤル 888 PASSPAL (727-7725)、または Eメール: [jwbrooks@passportpal.com](mailto:jwbrooks@passportpal.com) で注文できます。

Craig, JoAnn Meriwether. Culture Shock! Singapore. SB Graphic Arts Publishing, 2002. 書店で注文できます。

[http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title\\_pages/CSSINR1.asp](http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title_pages/CSSINR1.asp)

Fallon, Steve. Hong Kong & Macau. Lonely Planet Publishing, 2002. [www.lonelyplanet.com](http://www.lonelyplanet.com)

Li, Elizabeth; Wei, Betty Peh-Ti; Culture Shock! Hong Kong. SB Graphic Arts Publishing, 2002. 書店で注文できます。

[http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title\\_pages/CSHKR1.asp](http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title_pages/CSHKR1.asp)

Richmond, Simon. Singapore. Lonely Planet Publishing, 2003. [www.lonelyplanet.com](http://www.lonelyplanet.com)

Sous la Direction de Gentelle, Pierre. Chine.Peuples et civilisation. La Découverte, 1997.

留学期に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

## イタリアに関する重要情報

8月は、イタリアでは Ferragosto を祝い、国を挙げての休暇となります。会社、学校、商店は休業し、休暇を取り旅行に出る人も少なくありません。従って、奨学金に関する問題はすべて 8 月前に解決しておくことが肝要です。イタリアでは教科課程の多くが 10 月あるいは 11 月に始まりますので、出発前に提出する書類もすべて 8 月前に奨学金コーディネーターに提出しておくようにしてください。

公立の教育機関への入学許可。Corsi singoli (学位の取得を目的としないプログラム) に登録するためにイタリアの公立大学への入学許可を求める奨学生は、すべて、奨学生の居住地を管轄するイタリア領事館を通じて申請しなければなりません。直接大学に申請することはできません。申請書はすべて特定の体裁に従い、また種々の書類を添付しなければなりませんので、最寄りのイタリア領事館に連絡し、指示を求めてください。奨学金コーディネーターに提出するため費用情報を入力したい場合、大学に直接連絡するか、関連ウェブサイトやプログラム資料を活用してください。

ほとんどの場合、イタリアの公立大学への入学許可を得るためには、あなたが自国の総合大学あるいは単科大学に登録していることを証明しなければなりません。従って、領事館は、あなたが自国で学位取得のために勉強している学生であることを義務づけています。願書には、帰国後に大学に戻り、学業を続ける旨を明確に記してください。Corsi singoli に入学する学生は、公立大学に入学許可をもらうための言語テストを受ける必要はありませんが、この規定は大学やプログラムによって異なる可能性があります。従って、大学側または領事館は、あなたが一旦学費を納入した場合、あなたの入学を阻止するものは何もない旨の入学許可となる書簡あるいは nulla osta を提供できるはずですが、学籍係 (segreteria) または領事館から nulla osta をもらうことができない場合、学年度内において学業を指導してくれる教授からの書簡を提出する必要があります。

入学申請手続きは、留学指定先が決定次第、出来るだけ早目に開始してください。領事館により締切日が異なるため、あなたの申請を提出する締切日が他より早い場合も考えられます。公立大学への入学手続きには何カ月もかかる場合もあります。従って、イタリア領事館から必要な情報を直ちに収集した方がよいでしょう。申請に関する費用はすべて、自己負担となっています。

私立の教育機関への入学許可。イタリアの私立の教育機関への申込みは、直接教育機関に提出してください。入学許可の書簡は、無条件入学でなければならないことに留意してください。従って、入学するために、到着後語学力または他の試験に合格しなければならない場合、入学のための全試験に合格するまで入学許可は保証されません。ロータリー財団の奨学金コーディネーターに入学の確認および出国前の書類を全部提出するまでは、自己負担で費用を賄います。書面による入学許可が下りたなら、その時点で受けているロータリー認可の語学研修ならびにそのための宿泊と食事代の領収書を添えて費用の払い戻しを申請することができます。入学する前に試験を受ける必要があることを承知している場合、先ずは自分で旅行手配をし、入学許可を得た後に払い戻しが受けられるよう旅行要請書式選択 2 を提出してください。

音楽学校への入学許可。イタリアのほとんどの音楽学校は、出願者が実際に出席して実技試験を受けることを義務づけています。可能であれば、事前に自費で旅行の手配をして実技試験を受け、入学許可を確保してください。ただし、イタリアへの学生ビザを申請するためには、あなたは母国にいななければならないのでご注意ください。イタリア国内からビザを申請することはできません。学年度開始間際まで実技試験を受けられない場合は、先ずは自費で旅行を手配し、入学許可を得た後に払い戻しが受けられるよう旅行要請書式選択 2 を提出してください。イタリアの音楽学校へ入学できる可能性が増すよう、2 つ以上のロータリー財団認可の教育機関に出願し、同じ頃に実技試験を受ける予定を立てるのが最善と思われます。学校によっては競争の非常に厳しいところもあります。「代替教育機関」および「旅行」についての詳細は、国際親善奨学金要覧および添付資料を参照してください。

(裏面に続く)

財団は、あなたが書面をもって入学許可を得、出発前の必要書類を提出するまでは奨学金の支給ができませんので留意してください。入学許可が下りたなら、その時点で受けているロータリー認可の語学研修ならびにそのための宿泊と食事代の領収書を添えて費用の払い戻しを申請することができます。

ビザおよび **Permesso di Soggiorno** (滞在許可証)。すべての奨学生は、全留学期間有効な学生ビザを持ってイタリアに入国しなければなりません。すべての奨学生は、到着後 1 週間以内に、**permesso di soggiorno** を申し込むため、指定教育機関がある町(語学研修を受ける町と異なる場合)の **Questura** に届け出てください。この手続は数週間から数カ月間かかることもあり、資金支援および保険加入を含む証拠書類が必要とされます。ロータリー認可の留学用保険に加入した場合、**Questura** (警察署)が要求している保険として有効となるはずですが、従って、保険カードまたは海外での保険金支給に関する説明文を **Questura** に提出してください。申請手続に必要な書類が欠けているため出直さなければならなかったり、長い列で待つことを避けるため、**Questura** が **permesso di soggiorno** 申請に必要な書類として提出した全ての書類をコピーしておくのがよいでしょう。また、ビザ申請書類並びにその他 **permesso di soggiorno** のために提出した全ての書類をコピーしておくことを忘れないで下さい。必要であれば、**permesso di soggiorno** のための費用を臨時出費資金(1 学年度および文化研修の奨学生に適用)から出すことができます。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

宿舎。イタリアの宿舎は非常に高額で、短期間に見つけるのは容易ではありません。多くの宿舎は **ferragosto** の休暇前の夏の間に契約が結ばれるため、できるだけ早く経済的な宿舎探しを開始することが肝要です。学生用宿舎(「**collegi universitari**」, 「**studentati**」)あるいは学生用宿舎幹旋係があるかどうか、大学に問い合わせましょう。受入国のロータリアンが宿舎探しを手伝ってくれる場合もありますが、それはあくまでも個人的な好意であって、そのような義務があるわけではありません。前年度のロータリー奨学生と連絡を取り、留学先での宿舎の引き継ぎの可能性や最良の宿舎を探すには、どうすれば良いかなどについて相談することを強くお勧めします。ヨーロッパまたはヨーロッパ以外の留学生にも有用な大学の支援源がありますので、「**Erasmus**」学生(イタリアのヨーロッパ交換学生)用のさまざまな情報を調べておくとよいでしょう。下記のウェブサイトにも、イタリアの町のアパートのリストが掲載されています。

[www.postoletto.com](http://www.postoletto.com)  
[www.affittistudenti.it](http://www.affittistudenti.it)  
[www.studenti.it](http://www.studenti.it)  
[www.soloaffitti.com](http://www.soloaffitti.com)

参考資料。

Barzini, Luigi. *The Italians*. Atheneum, 1996.

Costantino, Mario and Gambella, Lawrence R. *The Italian Way: Aspects of Behavior, Attitudes, and Customs of the Italians*. McGraw-Hill NTC, 1996.

Falassi, Alessandro and Flower, Raymond. *Culture Shock! Italy*. SB Graphic Arts Center Publishing, 2002.

Neighbor, Travis and Lerner, Monica. *Living, Studying and Working in Italy: Everything You Need to Know to Fulfill Your Dreams of Living Abroad*. New York: Henry Holt & Co., Ltd., 1998.

Hill, Richard. *We Europeans*. Europublications, Bruxelles, 1993.

Barzini, Luigi. *The Europeans*. Penguin books, 1983.

[www.virgilio.it](http://www.virgilio.it) (イタリア語の検索エンジン。公立学校へのリンクは、**education** と **siti di laurea—la guida alle universita' italiane** をクリックし、一般情報へのリンクは、**scegliere l'universita—l'orientamento universitario** をクリックしてください)。Click on **education** and **siti di laurea—la guida alle universita' italiane** for links to state schools, or click on **scegliere l'universita—l'orientamento universitario** for general information).

[www.istruzione.it](http://www.istruzione.it) [www.istruzione.it](http://www.istruzione.it) (公立教育部のための政府のサイト)

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

## 日本に関する重要情報

日本語。すべての1学年度国際親善奨学生は、出国前の準備事項の1つとして、毎年12月に、日本政府が行う日本語能力試験の1級試験に合格しなければなりません。できるだけ早くこの試験を受けてください。この試験に関する情報は、<http://momo.jpf.go.jp/hiroba/home.html>をご参照ください。日本語能力試験の1級試験に合格できなかった奨学生は、直ちに奨学金コーディネーターに、他の代替案を相談してください。

入学許可。日本の学年度は4月に開始します。過去2年以内に上述の1級試験に合格している留学生に対し、多くの教育機関は、留学生に年度半ば(9月または10月)に勉学を開始することを認めています。年度半ばに勉学を開始する予定の場合は、願書を出してから手続が完了するまで6カ月かかる場合もありますので、直ちに教育機関に連絡してください。入学許可を得てからビザを取得するまで数カ月かかりますので、指定教育機関へ願書を適時に提出することが極めて重要です。2007-08年度奨学生は、2007年4月に勉学を開始できないということに留意してください。

ビザの発給。日本の学生ビザを入手するには数カ月かかる場合もありますので、指定教育機関から入学許可が下り次第、すぐにビザの手続きを開始することを奨励します。日本における1学年度、マルチ・イヤー、6カ月間国際親善奨学生は、日本大使館や領事館で学生ビザあるいは大学入学前のビザを申請するにあたって、教育機関からの在留資格認定証明書(Certificate of Eligibility)が必要となります。入学が許可されたなら、直ちに、あなたに指定された教育機関は、日本の法務省に在留資格認定証明書の申請をする必要があります。在留資格認定証明書またはビザの申請に関し、問題が発生した場合は、直ちに受入国のロータリアンに助けを求めてください。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

宿舎。日本の宿舎は、非常に高く、見つけるのが困難です。直ちに、宿舎を探し始めることをお勧めします。留学生のための寮のある大学はあまりありませんが、大学が宿舎探しに力を貸してくれるかもしれません。さらに、受入地区のロータリアンの助力を求めることもできます。しかし、ロータリアンには、宿舎の手配をする義務は全くないということを留意しておいてください。東京へ留学する奨学生は、Center for Domestic and Foreign Studentsを通じて援助を申込むことが出来ます。住所は〒160 東京都新宿区四谷 1-21、電話番号は+81-3-3359-5997です。

保険。日本の法律は、日本に12カ月以上滞在する外国からの留学生が国民健康保険制度に登録する義務があることを規定しています。日本での滞在が12カ月を超えない留学生においては、同様に登録する資格はありますが、その義務はありません(3カ月の文化研修のための奨学金においては、日本における住民登録が許されないため、登録できないことに留意してください)。国民健康保険は緊急医療の輸送および遺体の本国送還に対する支払を含まないため、国民健康保険へ登録する場合には、緊急医療の輸送および遺体の本国送還を含む補足の保険に加入しなくてはなりません。これに加え、日本での外国人登録手続きが完了するまで国民健康保険制度へ登録することができないため、日本への旅行および登録までの初期滞在をカバーする保険に加入する必要があります。これらの補足の保険は、旅行代理店あるいは奨学金資料キットにパンフレットが掲載されている会社を通じて、手配することができます。各保険の加入証明書を入手し、担当の奨学金コーディネーターに提出してください。

参考資料。

Association of International Education, Japan (<http://www.aiej.or.jp/index1e.html>)

4-5-29 Komaba, Meguro-ku, Tokyo 153, 電話: +81-3-5454-5216 ファックス: +81-3-5454-5236

英語、日本語、韓国語、中国語、タイ語、インドネシア語(Bahasa)での国際留学生のための情報。「Student Guide to Japan」(日本への留学生の指針)を出版。オンラインでも入手可。

(裏面に続く)

Center for Domestic and Foreign Students (<http://www.naigai.or.jp/>)

宿舎の情報を含む日本での生活や学業に関する実践的な情報を日本語と英語で提供。

Japan Information Network (<http://www.jinjapan.org/>)

日本の地理および文化を含む一般情報。

De Mente, Boye. Behind the Japanese Bow: An In-Depth Guide to Understanding and Predicting Japanese Behavior. Lafayette. Intercultural Press, 1993.

Finklestein, Barbara. Transcending Stereotypes: Discovering Japanese Culture and Education. Yarmouth, ME: Intercultural Press, 1991.

A Guide to Living Abroad: A Practical Reference for Living in Japan. Princeton, NJ: Living Abroad Publishing, Inc. 1995.

Barnlund, Dean C. Communicative Styles of Japanese and Americans: Images and Realities. Wadsworth Publishing Company, 1989.

Condon, John and Kurata, Keisuke. In Search of What's Japanese about Japan. Shufunotomo, Tokyo.

Condon, John. With Respect to the Japanese. A Guide for Americans. Intercultural Press, 1984.

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

### 韓国に関する重要情報

奨学金支給期間。韓国では 3 月に学年度が開始されます。しかし、留学生に対し、9 月に始まる第二学期始めからの入学を許可する教育機関が多数あります。2007-08 年度奨学生は、2007 年 3 月に勉学を開始することはできません。学年度は 10 カ月間で、学期の間に 2 カ月の休暇があります。休暇中受入地区に残る奨学生に対しては、10 カ月間の部屋代と食費が支払われます。休暇中受入地区に滞在しない奨学生に対しては、8 カ月間の部屋代と食費のみが支払われます。

韓国語。1 学年度奨学生は、皆、出国前の準備としてベルリッツの韓国語試験に合格することが要請されます。できるだけ早くこの試験を受けてください。

ビザの発給。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

参考資料。

International Cooperation Bureau  
Ministry of Education  
77 Sejong-ro 1-ka, Chongro-gu  
Seoul, 110-760 Korea  
電話: +82-2-720-3405  
ファックス: +82-2-720-1501  
<http://www.moe.go.kr/>

Sonja Vegdahl Hur, Culture Shock! Korea. Graphic Arts Center Publishing, 2002

[www.lonelyplanet.com](http://www.lonelyplanet.com)

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

### レバノンに関する重要情報

語学力の条件。レバノンでは、アラビア語とフランス語が最もよく話されているため、レバノンに留学予定の奨学生は、ある程度のアラビア語とフランス語の知識が必要とされます。レバノンの教育機関での授業が英語あるいはフランス語で行われる場合、奨学生は教育機関で使用される言語の能力を証明しなくてはなりません。

ロータリー財団および派遣・ロータリー地区が認可すれば、受入国で財団が費用を支給する追加の語学研修に申し込むことができます。学年度中も引き続きアラビア語の研修を受けたい場合、担当の奨学金コーディネーターに連絡を取り、詳細を問い合わせてください。

ビザの発給。全奨学生は、滞在期間中有効とされる学生ビザを取得しなくてはなりません。あなたの住む地域を管轄するレバノン領事館に連絡を取り、ビザ取得手続きに関する情報を入手してください。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。あなたのパスポートにイスラエルのビザ、またはスタンプが押されている場合、レバノンに入国することはできません。

安全のために。レバノンに到着したなら、大使館または領事館で現地の住所、電話番号、Eメール、緊急連絡先を登録すべきです。大使館および領事館では、あなたが安全を心がけられるよう、旅行中の注意事項を提供し、緊急時における相談なども受け付けています。奨学生は全員、現地情勢や国際政治情勢に常に耳を傾け、外国を旅行中は注意を払うよう勧告されています。

参考資料。

Friedman, Thomas L. *From Beirut to Jerusalem*. Farrar, Straus and Giroux, 1991.

Nydell, Margaret K. Omar. *Understanding Arabs: A Guide for Westerners*. Yarmouth, ME: Intercultural Press, 1997.

Nwana, Gladson I. *Do's and Don'ts Around the World – Middle East: A Country Guide to Cultural and Social Taboos and Etiquette (International Traveler's Resource Guide)*. World Travel Institute Press.

Peroncel-Hugoz, Jean-Pierre. *Une croix sur le Liban-1984*

[www.dailystar.com.lb](http://www.dailystar.com.lb)

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

### メキシコ、中央・南アメリカに関する重要情報

**通信手段。**郵便物の遅配、紛失といった配達上の問題が発生することは多々あります。入学願書や手紙の発送の際、民間の宅配便業者（例えば DHL、TNT Skypak、Emery、Federal Express）を利用したり、電話でやりとりのできる大学内の担当者を探すようにしてください。ファックス、E メール等も大いに利用してください。郵便物の配達上の問題を避けるため、**メキシコおよび中央・南アメリカに留学する奨学生への奨学金支給は、両国とも、電子送金によって奨学生の母国の銀行口座に母国の通貨建てで送金されます。**

**教育機関への入学許可。**入学許可の手続完了までには格別の努力をする覚悟でいてください。志願者の問い合わせに対し、回答が遅れる場合があります。早目の申請に対して返事がなくてもあきらめないでください。念のため、財団承認の代替教育機関に少なくとも一つ出願しておくべきでしょう。留学生に対し、私立の教育機関のほうが公立より迅速に対応してくれる場合もあります。南アメリカには、2 月の大半を休暇として休講する大学があり、この期間中、公式の学校業務は一切行われません。

大学によっては、international student office（国際学生課）のことを「Study Abroad Office」（留学生事務局）と呼ぶところもあります。これは団体留学プログラムのことではありません。学生は通常、「Study Abroad Office」を通じて、受入国の大学に願書を申請することができます。ご質問がありましたら、担当の奨学金コーディネーターまでご連絡ください。

**ビザの発給。**留学国のビザ取得条件をできるだけ早く調査してください。ビザ取得手続は時に複雑で相当の時間と費用がかかります。ロータリー財団からの資金保証書簡の他に、警察証明書、財政能力証明書（公証付き銀行口座明細書）とエイズ検査証明書を要求される場合もあります。また、文部省からの署名印付きの指定教育機関からの入学許可の書簡が必要とされる場合もあります。航空旅程表もしくは航空券が必要とされる場合は、奨学金コーディネーターに連絡してください。指定された国の最寄の領事館あるいは大使館に連絡して、出発予定日の 4、5 カ月前に、従うべき手続および留学国へ出発前と到着後に準備しなければならない書類に関する詳しい指示を受けてください。国によっては、出国の 1 カ月以上前にはビザを発行しないところもあることに留意してください。**また、留学国に到着してからでないとビザを発行しないという国もあります。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。**

**年間学業予定。**ほとんどの中央アメリカおよび南アメリカの国における学業年度は通常 9 カ月または 10 カ月間です。メキシコおよびエクアドルでは、北半球と同様、9 月または 10 月に正規の授業が開始されます。その他の中央および南アメリカの国々においては、南半球の予定表に従い、1 月、2 月、または 3 月に正規の授業が開始されます。大学側および受入地区ロータリアンは、2 学期からの留学開始に関しては援助することができません。従って、奨学生は正規の学年度開始時に入学しなければなりません。あなたの計画を財団の奨学金コーディネーターに相談してください。

**宿舎。**構内に寮がない大学が多いため、できるだけ早くカウンセラーに連絡して、下宿探しを依頼してください。あなたの奨学金コーディネーターと元奨学生も追加情報を与えてくれるでしょう。ペンション（民宿）や、ホームステイを利用している奨学生もいます。アパートを借りることを望む場合は、受入地区カウンセラーに、ルームメイト探しを手伝ってくれるよう依頼するとよいでしょう。

**警察登録。**ほとんどの奨学生は、到着より 3 カ月から 6 カ月以内に警察に登録することを要求されます。あなたが指定された国の領事館や大使館に、警察にいつ登録し、登録するためにどのような書類を持参すべきかを問い合わせてください。

犯罪。パスポートを紛失したり、盗まれたりした場合、直ちに最寄の日本大使館または領事館に届け出てください。安全な旅をするには、米国国務省のウェブサイト、A Safe Trip Abroad, [http://travel.state.gov/visa/americans/americans\\_1252.html](http://travel.state.gov/visa/americans/americans_1252.html) を参照してください。このリンクの情報(特に、領事館情報資料にある国別情報)を精読してください。

メキシコ、中央・南アメリカのロータリー。 中央および南アメリカの一部では、国際親善奨学生を受入れた経験が浅いために、意思の疎通がうまく図れなかったり、奨学生に関心を示さないようにみえるロータリアンもいます。奨学生はこれを個人的な問題として捉えずに、ロータリー・クラブに積極的に辛抱強く働きかけるようにしましょう。自らクラブに連絡を取り、奨学金プログラムに関するプレゼンテーションを行う日程を申し出、留学の目的と留学中の目標を述べてください。奨学生は、自分の留学国に留学した経験を持つ元奨学生に連絡を取り、その国のクラブやロータリアンとの関わり方について助言を受けるようにしてください。

#### 参考資料。

Harrison, Phyllis A. Behaving Brazilian. A Comparison of Brazilian and North American Social Behavior. Newbury House Publishers, 1983.

Condon, John. Good Neighbors: Communicating with the Mexicans. Yarmouth, ME: Intercultural Press, 1985. (also available in Spanish:*Buenos Vecinos*)

Fantini, A. et al (Eds.). Living in Mexico. Brattleboro, VT: Pro Lingua Associates, ISBN 0-86647-057-3.

Hutchison, William and Poznanski, Cynthia. Living in Colombia. Yarmouth, ME: Intercultural Press, 1987.

Paz, Octavio. The Labyrinth of Solitude (Understanding the Mexican). New York: Grove Press, 1961.

Popular Culture in Chile: Resistance and Survival. Boulder, San Francisco and Oxford: Westview Press, 1991.

#### **ラテン・アメリカ**

<http://www.terra.com/espanol.htm>

#### **アルゼンチン**

<http://www.uol.com.ar>

<http://www.buenosaires.gov.ar>

#### **ボリビア**

<http://www.boliviaweb.com>

#### **ブラジル**

<http://www.oglobo.com><http://www.uol.com.br>

#### **チリ**

<http://www.terra.cl>

#### **コロンビア**

<http://www.terra.com/colombia/>

#### **コスタリカ**

[http://www.embassyworld.com/embassy/costa\\_rica1.htm](http://www.embassyworld.com/embassy/costa_rica1.htm)

<http://www.ticotimes.net/>

#### **エクアドル**

<http://www.ecuador.studyabroad.com>

<http://www.eldiario.com.ec>

#### **グアテマラ**

<http://www.terra.com.gt>

#### **メキシコ**

<http://www.terra.com/mexico/>

<http://www.consulmexny.org>

#### **ウルグアイ**

<http://www.terra.com.uy/>

#### **パラグアイ**

[http://www.lonelyplanet.com/destinations/south\\_america/paraguay/](http://www.lonelyplanet.com/destinations/south_america/paraguay/)

#### **ベネズエラ**

<http://www.terra.com.ve>

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

## スペインおよびポルトガルに関する重要情報

教育課程。スペインとポルトガルの公立大学の多くは、スペイン語が母国語でない学生を、自動的に、外国人学生プログラムに入学させます。このプログラムは実質上、1 の年語学研修で、語学研修と文化、地理、人類学、歴史、政治学などの補足コースを組み合わせたものです。1 学年度およびマルチ・イヤー奨学金を、このプログラムには使用すべきではありません。申請の際には(特に、大規模の公立大学に申請する場合には)、具体的な教科課程または学部への入学を申し込むか、あるいは、客員学生 (スペイン: *alumno visitante*、ポルトガル: *visitante*) としての入学を要請してください。

願書。一般的には正式な入学願書というものはありません。しかし、紹介状、履歴書、作文、あなたの写真などを含む、公証人によって認証されたいくつかの書類を送付することが義務づけられています。すべての文書は、スペイン語またはポルトガル語で書かれていなければなりません。1 学年度奨学生は、学位取得課程、あるいは学位の取得を目的としない学生として申請する選択肢があります。客員学生の申請手続きは、学位取得課程のそれに比べ、簡略化されています。いずれのプログラムを選ぶ場合も、大学から入学許可書を発行してもらおうよう具体的に要請してください。スペインでは、入学許可を申請する際に前金を納め、事前登録を行うことが義務づけられる場合があります。前金は、年間授業料全額の 20～50 パーセントを前金として納めなければ、入学許可を得ることはできません。この前金を学生自身が立て替え、奨学金の第一回目の支払いでその分を返金してもらうことになります。

大学との通信。留学開始予定日の 4、5 カ月前から入学申請を開始することが重要です。夏期の間、特に 7 月と 8 月は、大半の大学職員が休暇を取る上、各担当事務所も閉鎖されます。問い合わせは、該当するプログラムまたは学部へ直接連絡してください。授業料と授業開始日は学部によって異なるため、あなたの研究プログラムの授業料と授業開始日を問い合わせ、奨学金コーディネーターに通知してください。

大学入学許可。大学の受諾書は、大学の講座に登録するようあなたを招く非公式の書簡であると考えられます。大抵の場合、あなたが大学に実際に到着するまで、受講計画を立てることはできません。元奨学生は、入学手続用に、入学願書類の写し、特に公式な成績表や卒業証明書のコピーを数通持参するよう助言しています。

スペインにおいて、大学入学関係資料は、しばしば、*estancos* にあります。*estancos* は、スペインの大抵の都市にある小さなタバコ屋で、切手、官庁届出用紙やその他の公式書式も販売しています。

ビザの発給。欧州連合からの奨学生は、ビザが不要です。他のすべての奨学生には、学生ビザを発行しますが、有効期限は 90 日です。学生ビザを延長するために、あなたは警察署に出向き、学生身分証明書を得る手続を始める必要があります。この手続には時間がかかるため、元奨学生は直ちに手続を始めるよう助言しています。最初のビザ申請に必要な書類のコピーを必ず携行してください。警察署では、身分証明番号も取得できます。銀行口座を開設するとき身分証明番号が必要な場合もあると奨学生は報告しています。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

宿舎。スペインでの留学を指定された奨学生は、前もって宿舎を確保するよう試みてください。元国際親善奨学生(受諾パッケージのリストを参照してください)に連絡を取ってください。指定教育機関に連絡を取り、宿舎の選択肢(大学寮は数が限られており、先着順です)を問い合わせてください。学年度の留学開始前に受入地区カウンセラーが指定されるはずですが、出発前にそのカウンセラーの連絡先を受け取ることができない場合がありますので、宿舎探しを受入地区カウンセラーだけに頼らないでください。

(裏面に続く)

スペインのロータリースペインにおけるロータリーは、非常に格高く、知的職業層が主流を占めています。例会に招いてもらうために、奨学生は積極的に働きかけなければなりません。クラブによっては、ローターアクトに関与するよう奨学生を奨励するところもあるかもしれません。これは、奨学生がロータリアンよりローターアクターのほうに年齢が近いという理由によります。受入地区カウンセラーは、奨学生に対してあまり積極的に関与しない場合もあり、地域によっては、奨学生の到着前にカウンセラーを任命していない地区もあります。奨学生はこのような場合に備え、助言や支援を提供してくれそうな他の支援源を探しておいたほうが良いでしょう。**これから留学する奨学生が最も頼りにできる支援源は元奨学生です。地元****のロータリアンが考えつかないような文化の相違や大学やビザの発給に対する洞察を与えてくれるはず**です。地区内の全ロータリー・クラブの連絡先が記載されている地区のガイドブックを1冊、受入ロータリー・クラブからもらい、プレゼンテーションに備えてください。

スペインへ留学する奨学生への一般的アドバイス。スペインでは、多くの人が携帯電話をもっていて、テキストメッセージ用に使っています。留学都市で宿舎を確保する上で、携帯電話が役に立ちます。

参考資料。

Casas, Penelope. Discovering Spain: An uncommon Guide (2nd Edition). New York: Dimensions, 1996.

Hooper, John. The New Spaniards. New York: Penguin Books, 1995.

Ames, Helen Wattle. Spain is Different. Intercultural Press, 1992.

Hill, Richard. We Europeans. Europublications, Bruxelles, 1993.

Barzini, Luigi. The Europeans. Penguin books, 1983.

## スペイン

[www.embassyworld.com](http://www.embassyworld.com)

<http://www.buscapique.com/espana>

[www.cpnl.org/ensenyament/index.htm](http://www.cpnl.org/ensenyament/index.htm) (free Catalán language training)

[www.elpais.es](http://www.elpais.es) (El Pais newspaper)

[www2.abc.es](http://www2.abc.es) (ABC)

<http://www.rotaryspain.org/>

## ポルトガル

<http://portugal-info.com/>

<http://www.the-news.net/>

<http://www.portugal.org/>

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舍、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

## オランダに関する重要情報

教育課程。オランダでの大学院プログラムは、オランダ語と英語で教授されます。オランダ語で教授されるプログラムを申請する奨学生は、オランダ語が堪能でなければなりません。英語で教授されるプログラムを申請する奨学生は、英語が堪能でなければなりません。

オランダ語で教授されるプログラムに入学を希望する奨学生は、無条件入学許可を得るために、オランダ語の語学試験の合格が求められる場合があります。語学試験に合格するまで無条件入学が保証されない場合、無条件入学が確認され、出国前の書類が全部提出されるまで、あなたが費用を負担しなければなりません。大学側の書面による無条件入学許可を得た後、1学年度奨学生は、その時点で受けているロータリー承認の1カ月間の語学研修ならびにそのための宿泊と食事代の領収書を添えて費用の払い戻しを申請することができます。指定教育機関に無条件入学許可を得る前に試験を受ける必要があることを承知している1学年度奨学生は、先ずは自分で旅行手配をし、入学許可を得た後に払い戻しが受けられるよう旅行要請書式選択2を提出してください。

学年度。オランダの大学院課程の多くは、学位取得に10カ月あるいはそれ以上を必要とします。あなたが1学年度国際親善奨学生なら、教育機関の正規の学年度(通常9カ月)の費用しか支給されません。従って、指定された教育機関あるいは受入国で追加の期間を過ごす場合は、自己資金の準備をしておいてください。往復航空券は旅行開始日から12カ月間のみ有効です。

ほとんどの大学と指定教育機関の学年度は、8月末か9月の初めに開始します。年度半ばから開始することは、稀です。

語学試験。オランダに指定された奨学生は、すべてオランダ語または英語を話す必要があります。1学年度奨学生は、ベルリッツでオランダ語、またはTOEFLで英語の語学試験を合格しなければなりません。オランダ語で勉学する奨学生はベルリッツのオランダ語試験、英語で勉学する奨学生はTOEFLを受けてください。英語で教授されるプログラムに申請する英語を母国語とする奨学生のみが、語学試験を免除されます。

語学研修。1学年度奨学生は、勉学プログラムの言語にかかわらず、全員1カ月間の集中オランダ語研修を受けるよう強く奨励されます。1学年度奨学金は、オランダ語研修の費用が含まれています。元奨学生はオランダ語研修が非常に役立つと述べています。また、受入地区ロータリアンも、地元の言語を習おうとする奨学生の姿勢を歓迎します。

ビザの発給。欧州連合、スイス、リヒテンシュタイン、モナコ、アイスランド、米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドおよび日本の市民は、ビザは不要です。その他の国の奨学生は、出発する前にオランダ領事館から **Authorization for Temporary Residence (M.V.V.)** を取得しなければなりません。尚、この他のビザ関係の書類を事前に準備しなければならない場合があります。できるだけ前もって、自国のオランダ領事館にビザに関して問い合わせてください。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

オランダに到着後、すべての奨学生は、「Foreign Police」(外事警察)に登録しなければなりません。この手続きについては、大学側がアドバイスをしてくれます。

宿舍。一部の大学は、限られた数の学生寮を提供しますが、ほとんどの大学は提供しません。オランダ、特にアムステルダムでは、宿舍を確保するのが非常に困難です。従って、できる限り早期に宿泊に関する情報を得ようお勧めします。指定教育機関、受入地区カウンセラー、および学友に連絡を取り、宿舍を捜し求めてください。

(裏面に続く)

參考資料。

De Vries, Andre. Live and Work in Belgium, the Netherlands, and Luxembourg. 3<sup>rd</sup> ed. Vacation Work Publications.

Janin, Hunt and Ria van Eil. Culture Shock! the Netherlands. Portland, OR: Graphic Arts Center Publishing, 1998.

Rush, Pat. Living and Working in the Netherlands: All You Need to Know for a Long or Short Term Stay. How to Books, Ltd., 2001.

White, Colin and Laurie Boucke. The Undutchables: An Observation of the Netherlands, Its Culture, and Its Inhabitants. 4<sup>th</sup> ed. Lafayette, CO: White-Boucke Publishing, Inc: 2001.

<http://www.studyin.nl/>

<http://www.nuffic.nl/index.html>

<http://www.studyoverseas.com/europe/netherlands1.htm>

<http://www.americanvlaai.com/index.htm>

<http://www.minbuza.nl/>

<http://www.lonelyplanet.com/destinations/europe/netherlands/>

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

## ニュージーランドに関する重要情報

ビザの発給。学生ビザを申請する際、十分な資金を保持し、ニュージーランドへの往復航空運賃の用意があることを裏付ける証明書など多数の書類提出が求められます。ビザ申請書と共に、財政能力証明書)のコピーと個人資産に関する追加情報を提出しなければなりません。国際ロータリー・トラベル・サービス(RITS)を利用して旅行手配をする場合、RITS からの旅程表が、学生ビザを入手するための往復旅行の十分な証拠となるはずですが、また、ロータリー財団が「Financial Undertaking for a Student」書式の保証人となることはできません。

学費の前納と諸費用。ロータリーの奨学生として、あなたには留学生用の授業料ではなく国内学生と同じ授業料が請求されます。従って、ニュージーランド籍の学生と同じ学費を要求されることになります。教育機関の学務課(Admission Office)に財政能力証明書(Letter of Financial Guarantee)を提出し、学費がニュージーランドの国内レート扱いであることがあなたの入学許可書に記述されていることを確認してください。

指定教育機関からニュージーランドへ到着する前に学費の払い込みを要請された場合、自分はロータリー財団奨学生として到着してから奨学金を受領するので、前納はできない旨説明してください。奨学金の支給証明として財政能力証明書(Letter of Financial Guarantee)のコピーも提出してください。それでもなお前納分の授業料を請求された場合には、あなた自身がこれを用意しなければなりませんが、教育機関に入学後、奨学金によってこの費用が払い戻されることになっています。

教育制度。指定教育機関での学業年間予定表を事前に調べておくようお勧めします。ニュージーランドではほとんどの授業が2月か3月の夏学期に始まりますので、北半球からの奨学生は自国での学科のスケジュールとの調節が難しくなる可能性があります。

開始日。ニュージーランドではほとんどの教育機関の学年度は2008年1月から3月の間に始まります。あなたもこの通常の学年度に従うよう要請されます。2007年の7月または8月の第2学期(年度半ば)に学業プログラムを開始しないでください。宿泊の確保が難しく、受入地区のロータリアンおよび教育機関に不必要な迷惑をかけることになりかねません。すべての奨学生は、2008年6月30日以前に留学を開始しなければなりません、2007年7月1日以前に留学を開始することはできません。

宿舎。アパートを共同で借りるのがニュージーランドでは普通です(例えば、食費と食事の準備を分担するなど)。同じアパートの住人は、それぞれ各自の寝室が与えられますが、勉強部屋/客間/娯楽室、台所、浴室、電話、そして諸々のサービスは皆で共用し、費用を分担します。

奨学生のための到着後オリエンテーション。ニュージーランドの6つのロータリー地区が合同で奨学生向けのオリエンテーション・セミナーを開催しています。ニュージーランドで勉学する奨学生は皆参加するよう招待を受けています。受入地区カウンセラーに連絡して、2006-2007年度の奨学生オリエンテーション開催日時についてお尋ねください。

ビザの発給。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

参考資料。

Lonely Planet guide to New Zealand

[http://au.yahoo.com/Regional/Countries/New\\_Zealand/Education](http://au.yahoo.com/Regional/Countries/New_Zealand/Education)

<http://www.immigration.govt.nz>

<http://www.nzta.govt.nz> (New Zealand Tourism Board)

[www.lonelyplanet.com](http://www.lonelyplanet.com)

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

## ドイツ、オーストリア、スイス、ハンガリー、チェコ共和国、スロバキア、クロアチアに関する重要情報

上記の諸国に留学するよう指定された奨学生への奨学金は、ドイツ、デュッセルドルフにある Rotary Deutschland Gemeindienst e.V. (RDG)という名称の関係財団から支払われます。RDG 事務局は、上述の国における国際ロータリーの財務関係業務を調整しています。奨学金コーディネーターがあなたの出発前の必要書類をすべて受理しているにもかかわらず授業開始までに奨学金が支払われない場合、RDG に直接連絡してください。RDG とロータリー財団奨学金プログラム職員は密接に協力しており、あなたの奨学金に関するどのような問題についても連絡し合っています。RDG の連絡先は、奨学生要覧の後半の国際事務局の住所リストに記載されています。

教育機関への入学許可。あなたの留学年度が 10 月に始まる場合の出願締切日は、通常、オーストリアが 9 月 1 日、ドイツが 7 月 15 日、スイスが 6 月 1 日です。

語学試験。ドイツとオーストリアに指定された奨学生は、ドイツ語を話す必要があり、1 学年度奨学生はベルリッツのドイツ語試験に合格しなければなりません。尚、オーストリアとドイツの教育機関は、学位取得を目的とするドイツ語圏以外の国の全学生に、留学開始前に PNdS(Prüfung zum Nachweis deutscher Sprachkenntnisse)語学試験を受けることを義務づけています。この試験はドイツの大学で行われます。あなたがこの試験に合格しなかった場合、大学は入学許可を取り消す場合もあります。

スイスに指定された奨学生は、フランス語、ドイツ語、またはイタリア語を話さなければなりません。指定された留学都市の使用言語が母国語でない 1 学年度奨学生は、ベルリッツの語学試験に合格しなければなりません。あなたの指定教育機関がジュネーブ、ローザンヌ、ヌーシャテルに所在する場合は、フランス語のベルリッツ語学力試験を受ける必要があります。あなたの指定教育機関がバーゼル、ベルン、ルツェルン、サン・ガール、ビンテルトゥール、チューリヒに所在する場合は、ドイツ語のベルリッツ語学力試験を受ける必要があります。あなたの指定教育機関がルガーノに所在する場合は、イタリア語のベルリッツ語学力試験を受ける必要があります。フリブールに指定された奨学生は、フランス語かドイツ語のいずれかのベルリッツ語学力試験を受けることができます。

教育機関の入学許可書。多くの大学と音楽学校は、入学申請の結果を学年度開始前の 7 月か 8 月まで出願者に通知しません。従って、財団から語学研修を指定された奨学生は、語学研修を受けるために出発を予定していても、出発前に入学許可の通知を受け取れないこととなります。留学国へ出発する 2、3 週間前までに入学許可が得られない場合、あなたの入学申請について教育機関に直接問い合わせてください。また、受入地区カウンセラーに連絡し、入学許可を急がせる方法について助言または援助を求めてください。受入地区カウンセラーは、あなたの入学許可の現況を確認するために力になれる大学関係者と連絡できるよう配慮してくれるかもしれません。

財団は、あなたが指定された教育機関または承認された代替教育機関から入学許可が下りたことを確認するまで、航空券を発行できません。このため、入学申請に関して早く教育機関と連絡を取ることができるよう先を見越して行動することが重要です。指定された教育機関への入学許可を得られない場合、または返事がない場合に備えて、予備として複数の教育機関に願書を提出するようしておいてください。

音楽学生のための貸しピアノ。多くの音楽学校には、ピアノ専攻学生のために、限られた数の練習室しかありません。当国到着後、音楽学校でピアノを使用できない場合、ピアノを借りるための費用を請求することもできます。この場合、あなたが必要な練習をするために練習室が使えない旨を確認する教育機関からの書簡をロータリー財団に提出しなければなりません。さらに、留学国でのピアノ・レンタル会社の見積書も提出しなければなりません。見積書には、貸しピアノの費用総額と 1 カ月当りの料金、配達料、調律費、返却料を明記します。財団は、ピアノの 9 カ月間のレンタル料金しか支払いません。9 カ月を超える場合、その追加レンタル料金は、あなたが負担しなければなりません。

(裏面に続く)

交通費。奨学生がオーストリアおよびドイツで、語学研修のための都市から教育機関の所在都市へ移動する場合、または別の都市にある主な国際空港から教育機関の所在都市に移動しなければならない場合、列車を利用するようお勧めします。奨学金コーディネーターの特別な指示がない限り、指定教育機関に関わらず、奨学生は一律の学費を支給されますので、列車の料金を自身の臨時費または学費から出してください。

スイス、ハンガリー、チェコ共和国、スロバキア、およびクロアチアに留学する学生は、陸上交通費用が弁済の対象となるかどうか、奨学金コーディネーターにお問い合わせください。財団は、1等車、途中下車をした奨学生に追加料金を支払わないことにご留意ください。

保険。ドイツに留学中、AOK (Allgemeine Orts Krankenkasse - 公共健康保険) に加入しなければなりません。AOK に加入したからといって、ロータリー財団の保険加入条件が満たされたわけではありません。しかも、あなたが実際に指定された教育機関に登録されてからでなければ、AOK の医療給付は受けられません。従って、ロータリーの最低条件を満たすために、AOK 以外の保険に加入する必要があります。オーストリアにおいても、同様な公共健康保険に加入しなければなりません。

ビザ取得の必要条件。オーストリアへのビザ申請手続についての説明を入手するには、最寄のオーストリア領事館および Austrian Foreign Student Service (ÖAD) に連絡してください。両方とも、申請手続についての情報を提供してくれます。ドイツの場合は、最寄のドイツ領事館および指定されたドイツの大学の Akademisches Auslandsamt (外事課) という担当課に連絡してください。ハンガリー、チェコ共和国、クロアチアおよびスイスの場合は、大使館または領事館に連絡してください。スイスへの留学生は、当国に到着後、居住許可書をもらうため、地元の警察署に登録する必要があります。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

あなたの奨学金支給全期間中留学国に滞在するためにビザが必要でない場合は、移民局からビザ免除の書類を入手し、そのコピーをロータリー財団の奨学金コーディネーターに提出する必要があります。教育機関から入学許可を受けるまで、あるいは、留学国に到着するまで、外国人学生がビザや居住許可書の申請をすることが許されない国もあります。そのような可能性があるかどうか、前もって調べておく必要があります。留学国に到着する前にビザを取得できないと分かった場合には、財団があなたのビザのコピーを受け取った後に第 1 回目の奨学金の支払をすることができるまで、自費で経費を賄う用意をしておかなければなりません。

参考資料。

Hall, Edward T. "Hidden Differences, Studies in International Communication: How To Communicate with the Germans." Hamburg: Stern Magazine, Gruner and Jahr AG, 1983.

Hill, Richard. We Europeans. Yarmouth, ME: Intercultural Press, 1994.

Hoffman, A. Facts About Germany. Frankfurt/Main: Societäts - Verlag, 1992.

Hall, Edward T. and Hall, Mildred. Understanding Cultural Differences (Germans, French and Americans). Intercultural Press, 1990.

Nees, Greg. Germany. Unraveling an Enigma. Intercultural Press, 2000.

Deutscher Akademischer Austausch Dienst ([www.daad.de](http://www.daad.de))

Bundesministerium für Bildung, Wissenschaft und Kultur ([www.bmbwk.gv.at](http://www.bmbwk.gv.at))

Study Hungary ([www.studyhungary.hu](http://www.studyhungary.hu))

スイスの参考資料。

Steinberg, Jonathan. Why Switzerland ? 2<sup>nd</sup> ed. Cambridge University Press: 1996.

Switzerland is yours.com (<http://switzerland.isyours.com/e/immigration/programs/study/>)

<http://www.crus.ch/>

<http://www.bbw.admin.ch/html/pages/bildung/intbildung-e.html>

<http://www.admin.ch/>

<http://www.lonelyplanet.com/destinations/europe/switzerland/>

オーストリアの参考資料。

Austrian Press and Information Service: [www.austria.org](http://www.austria.org)

Ministry for Education, Science and Culture: <http://www.bmbwk.gv.at/index.xml>

チェコ共和国の参考資料。

Czech Republic Information Service: <http://www.czech.cz>

ハンガリーの参考資料。

Hungarian Embassy and Information Service: <http://www.huembwas.org>

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舍、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

### スカンジナビアに関する重要情報

語学研修。多くの教科課程は、英語で教授されます。このようなプログラムに入学することを選択した場合、英語が母国語でない留学生は、TOEFL を受けなければなりません。英語の語学力研修を受けることは選択肢ではありません。奨学生は、ロータリーの活動に参加し、国際親善大使としての責務を果たすため、受入国の言語の語学研修を 1 カ月間受けるよう強く奨励されます。

受入国の言語で行われる学業プログラムへの入学を希望する奨学生は、ベルリッツ語学力試験を受ける必要があり、語学研修を受けるよう強く奨励されます。語学研修を手配する余裕が持てるよう、できるだけ早目に語学力試験を受けてください。スカンジナビアにおける多くの語学研修機関は、願書締切日が早く、夏季コースへの登録人数が限られています。

ビザおよび居住許可。特定の国の人々は、スカンジナビア諸国に入国前にビザを取得する必要がない場合もあります。3 カ月以上滞在する国際親善奨学生は、居住許可書が必要とされ、これは入国前に発行されなければなりません。居住許可書の入手には数カ月かかることもあるため、留学教育機関が指定されたなら直ちに申請するよう、強く奨励されています。居住許可書は、出発前の必要書類とみなされるため、これを担当奨学金コーディネーターに提出するまでは、奨学金の支払または航空券の送付は行われません。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

授業料および諸費用。スカンジナビアの多くの公立大学は授業料が無料となっていますが、公立大学に指定された奨学生は、通常、小額の学生自治組合費の実費を支払うよう求められています。その額を奨学金コーディネーターに知らせ、あなたの奨学金に入れてもらうようにしてください。

参考資料。

Bain, Carolyn, et al. Scandinavian Europe. Lonely Planet Publishing, 2003. [www.lonelyplanet.com](http://www.lonelyplanet.com)

Hill, Richard. We Europeans. Europublications, Bruxelles, 1993.

Barzini, Luigi. The Europeans. Penguin books, 1983.

Monk, Karin Vidstrup. Scandinavian phrasebook. Lonely Planet Publishing, 2001. [www.lonelyplanet.com](http://www.lonelyplanet.com)

Norden (<http://www.abo.fi/norden/>)

英語、フィンランド語、およびスウェーデン語による北欧国の高等教育に関する一般情報。

[www.lonelyplanet.com](http://www.lonelyplanet.com)

デンマーク

CiriusOnline.dk (<http://www.ciriusonline.dk/english/factsheets/>)

デンマーク語と英語によるデンマークでの勉学に関する情報。

Udenrigsministeriet, Royal Danish Ministry of Foreign Affairs (王立デンマーク外務省) (<http://www.um.dk/>)

情報部, Asiatick Plads 2, DK-1448 Copenhagen K, Denmark

英語、フランス語、ドイツ語およびデンマーク語によるデンマークに関する一般情報。

(裏面に続く)

## フィンランド

Center for International Mobility (CIMO)  
 P.O. Box 343 (Hakaniemenkatu 2)  
 FIN-00531 Helsinki  
 Tel.: +358-0-7747-7033  
 Fax: +358-0-7747-7074  
<http://www.cimo.fi>

Discover Finland (<http://finland.cimo.fi/>)

フィンランドでの勉強に関する英語の情報。Maintained by the Center for International Mobility.

Directorate of Immigration (<http://www.uvi.fi>)

英語、フィンランド語、およびスウェーデン語による、フィンランドへの移民および居住に関する情報。

Swallow, Deborah. Culture Shock! Finland. Graphic Arts Center Publishing, 2002. 書店で注文できます。

[http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title\\_pages/CSFIN.asp](http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title_pages/CSFIN.asp)

## スウェーデン

Hogskoleverket: National Agency for Higher Education (<http://www.hsv.se/>)

英語およびスウェーデン語による、スウェーデンでの勉強および学生生活に関する情報。

The Swedish Institute (<http://www.si.se>)

英語およびスウェーデン語による、スウェーデン語の研修を含む、スウェーデンでの勉強および研究に関する情報。

Swedish Ministry of Foreign Affairs (<http://www.utrikes.regeringen.se/inenglish/visainfo.htm>)

英語とスウェーデン語による、スウェーデンのビザおよび居住許可書の入手に関する情報。

Swedish Migration Board (<http://www.migrationsverket.se/load1.htm?english/einfo/estudgy.htm?>)

英語とスウェーデン語による、スウェーデンのビザおよび居住許可書の入手に関する情報。

Virtual Sweden (<http://www.virtualsweden.net/si/67.cs>)

英語でのスウェーデンに関する一般情報。

Robinowitz, Christina Johansson and Carr, Lisa Werner. Modern-Day Vikings. A practical Guide to Interacting with the Swedes. Intercultural Press, 2001.

## ノルウェー

National Academic Information Centre (<http://www.nnr.no/>)

Pb 8150 Dep, 0033 OSLO, Tel.: +47-21021860, Fax: +47-21021802, [NAIC@nnr.no](mailto:NAIC@nnr.no).

英語およびノルウェー語による、留学生の入学許可および教育機関と勉強分野を含むノルウェーにおける高等教育に関する情報。

Det Norske Universitetsrad, Norwegian Council of Universities (<http://www.uib.no/ur/>)

英語およびノルウェー語による、大学および学院へのリンクを含むノルウェーの高等教育に関する情報。

ODIN (<http://odin.dep.no>)

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語およびノルウェー語による、ノルウェーに関する一般情報。

Su-Dale, Elizabeth. Culture Shock! Norway. Graphic Arts Center Publishing, 2002. 書店で注文できます。

[http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title\\_pages/CSNORR1.asp](http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title_pages/CSNORR1.asp)

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

### 台湾に関する重要情報

語学力の条件。1 学年度奨学生は、ロータリー・ベルリッツの標準的中国語テストに合格しなければなりません。台湾では、中華人民共和国で使われている簡体字とは非常に異なる漢字を使っています。ロータリー財団と派遣地区により要請され、承認された場合、ロータリー財団は、留学国で語学研修を受ける費用を奨学生に支給します。台湾語をある程度知っていると便利です。

宿舎。すべての奨学生は、自分で宿舎を探すよう求められています。受入地区カウンセラーまたはロータリアンの連絡担当者が、宿舎に関する情報をあなたに提供できるかもしれません。大学の宿舎担当課も、地域の宿舎と連絡先に関する情報を提供できるかもしれません。多くの先輩奨学生は、希望する条件に合う長期滞在用の宿舎が見つかるまで、地元のホステルに滞在することを選んでいきます(またこの方法を台湾にこれから留学する奨学生に勧めています)。

中国人の家族と一緒に住むのが、通常、最も低コストで本物の中国の生活を体験する最良の方法です。しかし、中国人の家族は西洋人の家族より保守的であるため、下宿人に門限を設ける場合も考えられます。さらに、中国人の家族は、しばしば、学生を下宿させるかどうかを決める前に本人との面接を求めます。

注意: 文化研修のための国際親善奨学生はロータリー財団または語学研修機関からホームステイする家族を指定されません。留学期間中に中国人の家庭に下宿を希望する奨学生は、台湾に到着後、自分で手配しなければなりません。

以下に台北のホステルを挙げます。

Formosa-II Hostel  
2F, Lane 62, 5 Chungshan N. Rd., Sec. 2  
電話: (886-2) 511-6744/9625

Taipei Hostel  
6F, Lane 5, 11 Linsen N. Rd  
電話: (886-2) 395-2950

Taipei International Youth Activity Center (TIYAC)  
30 Hsinhai Rd.  
電話: (886-2) 362-1770  
ファックス: (886-2) 363-4104

YMCA  
19 Hsuehchang St.  
電話: (886-2) 311-3201  
ファックス: (886-2) 311-3209

ビザの発給。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

参考資料。

Brooks, John W. 典 he Pacific Rim. *Passport Pal*; \$29.95.

フリーダイヤル: 888 PASSPAL (727-7725)、または Eメール: [jwbrooks@passportpal.com](mailto:jwbrooks@passportpal.com) で注文できます。

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

### トルコに関する重要情報

語学力の条件。トルコでは、ほとんどの教育機関での授業の使用言語がトルコ語のため、トルコに留学予定の奨学生は、ある程度のトルコ語の知識を必要とします。トルコの教育機関での授業の使用言語が英語の場合、奨学生は、英語とトルコ語両方の言語能力の証明を提出しなければなりません。

ロータリー財団および派遣ロータリー地区が認可すれば、受入国で財団が費用を支給する追加の語学研修に申し込むことができます。学業年度が始まる前に、トルコで 1 カ月間のトルコ語の授業を受けることを希望する場合、奨学金コーディネーターに連絡し、詳細を入手してください。

ビザの発給。すべての学生は、学生ビザが必要です。ビザ手続に関する情報は、地元のトルコ領事館に連絡し、入手してください。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

安全のために。トルコに到着したなら、大使館または領事館で現地の住所、電話番号、E メール、緊急連絡先を登録すべきです。大使館および領事館では、あなたが安全を心がけられるよう、旅行中の注意事項を提供し、緊急時における相談なども受け付けています。奨学生は全員、現地情勢や国際政治情勢に常に耳を傾け、外国を旅行中は注意を払うよう勧告されています。

参考資料。

Bayraktroglu, Arin. Culture Shock! Turkey. SB Graphic Arts Center Publishing, 2002.

Kinzer, Stephen. Crescent & Star: Turkey Between Two Worlds. Farrar, Straus & Giroux, 2001.

[www.turkey.org](http://www.turkey.org)

留学期間に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

## 英国とアイルランドに関する重要情報

奨学金期間。英国とアイルランドのほとんどの大学院研究課程は 1 年(12 カ月)間修了した後に学位が授与されます。あなたが 1 学年度奨学生の場合、正規の学年度(通常 9 カ月)の費用しか支給されません。10 カ月以上の期間に対する奨学金要請は、承認されません。あなたが学位を取得するつむりの場合、残りの期間の費用は自分で負担する用意をしてください。往復航空券は旅行開始日から 12 カ月間有効であることに留意してください。英国に 12 カ月以上滞在する場合は、片道航空券を利用してください。

マルチ・イヤー奨学生。2 年マルチ・イヤー奨学生は、奨学金期間である両年度共、全日制の学生として登録しなければなりません。2 年目を、たとえば調査研究や卒業論文や博士論文など 1 年目に完了すべき課程に充てることはできません。1 学年修士課程に入学した奨学生は、他の大学院プログラムに入学する場合、2 年目も 1 年目の教育機関と同じ大学でなければなりません。マルチ・イヤー奨学生は、1 年目に教育機関を変えることはできず、例外は設けられません。

奨学生のための到着後オリエンテーション。学業期間が近づいた頃に、あなたは英国における奨学生のオリエンテーション・プログラムである Rotary in Britain and Ireland(RIBI) LINK Weekend についての資料を受け取ります。RIBI LINK Weekend とは、最も古くて規模の大きい奨学生オリエンテーション・セミナーで、通常、9 月の第 4 週目に実施されます。この週末オリエンテーションに出席し、英国およびアイルランドに留学する他の 150 人以上のロータリー奨学生、そしてこの特別な週末に各奨学生が滞在するために自宅を提供してくれるロータリアン達に出会ってください。過去に出席した元奨学生は皆、この貴重な体験を高く評価し、出席を勧めています。すべてのロータリー奨学生は、奨学金留学のために英国あるいはアイルランドに既に到着している場合、出席が義務づけられています。LINK Weekend への往復交通費を臨時費で賄うことができますが、このオリエンテーションに出席するための追加資金をロータリー財団は支給しません。

英国での保険 / 健康保険。英国では、NHS (National Health Services - 国民保険サービス)がロータリー財団の保険範囲の一部を提供することができます。しかし、ロータリー財団奨学生に対する NHS の保証は十分ではありません(医療の緊急輸送、遺体の本国送還、英国との往復飛行中など英国外への旅行等)。従って、NHS 保険に加入する場合は、併せて、ロータリーの最低保険加入条件を満たす他の保険にも加入しなければなりません。

ビザの発給。2003 年 11 月 13 日以降、次の国から英国に 6 カ月以上滞在する者は、入国許可書が必要となります。オーストラリア、カナダ、香港(香港で申請する BN(O)のための特別手配)、日本、マレーシア、ニュージーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国および米国。

自国にある英国またはアイルランドの大使館や領事館に連絡を取り、具体的な必要事項を問い合わせるのはあなた自身の責任です。到着前にビザを取得することを義務づけられた場合、出発前の必要事項として、ロータリー財団へビザ・スタンプのコピーを送らなければなりません。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学期間に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

警察登録。受入れ都市または町に到着すると直ちに警察登録料の支払を要求される場合もあります。この費用は奨学金臨時費から支払ってかまいません(1 学年度および文化研修奨学生)。

英国での銀行。英国で銀行口座を開くのは、難しく、時間がかかります。奨学生ロータリアンより多くの懸念が寄せられていることから、奨学生への奨学金支給は電子送金によって奨学生の母国に母国の通貨建てで送金されます。奨学金を直接あなたの銀行口座に振り込むことができるよう、奨学生要覧にある書式を使用して、担当コーディネーターまで銀行情報をお知らせください。

(裏面に続く)

参考資料。

The British Council  
<http://www.britcoun.org/>

UKCOSA: The Council for International Education  
<http://www.ukcosa.org.uk/>

About study in the UK (英国での勉強に関して)  
[www.studyuk.hobsons.com](http://www.studyuk.hobsons.com)

英国政府サイト  
<http://www.open.gov.uk/>

The British Information Services (英国情報サービス)。

英国情報サービスは、英国内での健康保険について、海外からの訪問者や学生に有益な種々の刊行物を発行しています。これらの刊行物を入手するために、米国の奨学生は The British Information Services, 845 Third Avenue, New York, NY 10022, USA に連絡できます。電話は(212)745-0200 です。電話: (212) 745-0200.

Barron, Tom. Get Set for Study in the UK. Edinburgh University Press, 2003

Delaney, Mary. Of Irish Ways. ISBN 0-07-46035-3

Hill, Richard. We Europeans. Europublications, Bruxelles, 1993.

Barzini, Luigi. The Europeans. Penguin books, 1983.

アイルランド

Davenport, Fionn. Ireland. Lonely Planet Publishing, 2002.

Levy, Patrick. Culture Shock! Ireland. Graphic Arts Center Publishing, 2002. 書店で注文できます。  
[http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title\\_pages/CSIRER1.asp](http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title_pages/CSIRER1.asp)

[www.lonelyplanet.com](http://www.lonelyplanet.com)

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舎、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

## 米国に関する重要情報

教育機関への入学許可。米国では、8月または9月の入学に対する申請を11月に早々と締め切る大学があります。指定された教育機関と承認されている代替教育機関への出願をできるだけ早く行ってください。また、米国の教育機関の入学手続は複雑で多くの文書提出を伴います。指定された教育機関の入学課に問い合わせてください。

ビザの発給。指定された教育機関の入学許可が下りたなら、大学からあなたの国の米国領事館／大使館を通じてビザ取得のための必要書類(I-20)が発行されます。大学のプログラムが12カ月から24カ月にわたる場合、大学が入国管理関係の書類を発行する前に、全期間にわたって勉学できる資金的裏付けがあるという証拠を提出することを求められる場合があります。1学年度国際親善奨学金が支給するのは9カ月間(2学期分)の資金のみです。9カ月以上滞在を予定している場合は、入学する教育機関に追加の資金があることを保証する書類の提出を求められることがあります。

ビザの申請には、最高12週間かかる場合があることに留意してください。ほとんどの留学生は、FI、JI、あるいはMビザを取得します。自己の状況に適したビザについて調べるのは、あなたの責任です。到着前に、米国に入学するすべての留学生の情報は、「S.E.V.I.S」(交換留学生情報システム)に入力されています。あなたの氏名も、到着前に留学先の教育機関によって入力されているはずです。米国の空港に到着したなら、税関の係員がS.E.V.I.S.を通じてあなたの氏名を確認します。I-20に記入されているあなたの留学先教育機関における勉学開始日の30日以内に到着しなければならないことにご留意ください。留学先の国に入学してからは、ビザに関するすべての質問は指定教育機関の担当者である「D.S.O.」(Designated School Officer)に尋ねてください。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

健康保険。米国には国民保険プログラムがありませんので、あなたは自身で保険に加入しなければなりません。大学が提供している保険に加入することを義務づける場合もしばしばあります。しかし、この保険への加入は財団の要求を満たすものではありません。従って、このような場合にはあなたは追加保険に加入し、これらの要求を満たさなければなりません。母国を出発する日から母国に到着する日までの期間を対象とする保険への加入が義務づけられていることに留意してください。

参考資料。世界教育家協会のNAFSA(the Association of International Educators)は、役に立つ数々の資料を備えています。特に「NAFSA's International Student Handbook:The Essential Guide to University Study in the USA, Second Edition」が役立つことでしょう。下記のNAFSA宛に連絡してください。

Publications Department  
NAFSA-Association of International Educators  
1875 Connecticut Avenue, NW, Suite 1000  
Washington, DC 20009-5728 USA  
電話:(202)462-4481 または (800) 836-4494 (米国から)  
ファックス:(202) 667-3319  
Eメール:inbox@nafsa.org  
ウェブサイト:<http://www.nafsa.org>

ビザ関係、米国国務庁([http://travel.state.gov/visa\\_services.html#niv](http://travel.state.gov/visa_services.html#niv))  
留学生ビザに関する情報

Althen, Gary. American Ways. Yarmouth, ME: Intercultural Press, 1996.

Simone de Beauvoir, America Day by Day, Trafalgar Square.  
Lanier, Alison. Living in the U.S.A. 5<sup>th</sup> Edition, revised by Gay, Charles W., Intercultural Press, 1996.

Carroll, Raymonde. Evidences invisibles. Américains et Français au quotidien. Seuil, 1987.

(裏面に続く)

Hall, Edward T. and Hall, Mildred. *Understanding Cultural Differences (Germans, French and Americans)*. Intercultural Press, 1990.

Labro, Philippe. *The Foreign Student*, Hapers Collins Publishers, 1988.

Stewart, Edward S. and Bennett, Milton J. *American Cultural Patterns*. Yarmouth, ME, Intercultural Press, 1992.

Zongren, Liu. *Two Years in the Melting Pot*. China Books, San Francisco, 1988.

留学国に関する以下の情報の一部は、元奨学生によって提供された情報に基づいたものですが、変更される場合があります。あなたが留学を指定された大学あるいはその近くに留学したことのある元奨学生のリストが封筒に収められています。これらの元奨学生は、大学、宿舍、ロータリーの参加などについて豊かな情報を提供し、あなたを援助してくれることでしょう。

### ロシアに関する重要情報 東欧および 元ソビエト共和国

教育課程。ロシアの多くの大学は、ロシア語を母国語としていない学生を留学生プログラムに自動的に入学させます。このプログラムは実質上、1 の年語学研修で、語学研修と文化、地理、人類学、歴史、政治学などの補足コースを組み合わせたものです。1 学年度およびマルチ・イヤー奨学金を、このプログラムには使用すべきではありません。申請の際、特定のプログラムあるいは学部への入学を要請するか、あるいは学位取得を目的としない学生や聴講生として受け入れられるかを尋ねてください。東ヨーロッパでの教育機関も同様です。

語学研修。奨学生要覧に解説されていますが、受入国の言語があなたの母国語でない場合、1 学年度奨学生は、ロータリー・ベルリッツ試験を受けなければなりません。たとえ、学業課程が語学力を要求していない場合でも、財団は、あなたが親善責務を果たすことができるよう、語学力を要求します。ロシア、元ソビエト共和国のうちの 1 カ国、またはその他の東欧の国の語学研修に指定された奨学生は、その受入国における大学または独立した語学研究センターの語学研修コースを調べてください。承認を得るため、語学研修プログラムに入学する前に、費用、コースの内容を含むプログラム情報を奨学金コーディネーターに提出する必要があります。コースの授業が承認された場合、奨学生はコースに入学することができ、費用の払い戻しは第 1 回の奨学金の支給額に含まれます。

ビザの発給。ロシアまたは東欧の国々のビザの申請手続に関する情報は、母国にある指定された受入国の領事館または大使館に連絡し入手してください。指定教育機関も追加情報を与えてくれるかも知れません。あなたの奨学金支給全期間中留学国に滞在するためにビザが必要でない場合は、移民局からビザ免除の書類を入手し、そのコピーをロータリー財団の奨学金コーディネーターに提出する必要があります。教育機関から入学許可を受けるまで、あるいは、留学国に到着するまで、外国人学生がビザや居住許可書の申請をすることが許されない国もあります。そのような可能性があるかどうか、前もって調べておくことが必要です。留学国に到着する前にビザを取得できないと分かった場合には、財団があなたのビザのコピーを受け取った後に第 1 回目の奨学金の支払をすることができるまで、自費で経費を賄う用意をしておかなければなりません。学生ビザの取得に関する情報は、元奨学生から得るのが最良です。あなたの留学国に滞在したことのある奨学生の氏名と連絡先は、学友リストをご覧ください。

参考資料。

Richmond, Yale. From Da to Yes. Understanding the East Europeans. Intercultural Press, 1995.  
<http://interculturalpress.com/shop/index.html>

Richmond, Yale. From Nyet to Da. Understanding the Russians. Intercultural Press, 1996  
<http://interculturalpress.com/shop/index.html>

Wayne, Paul & Maria. Culture Shock Moscow at Your Door. Graphic Arts Center Publishing.書店で注文できます。  
[http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title\\_pages/CSMOS.asp](http://www.gacpc.com/gacpc/titles/title_pages/CSMOS.asp)

[www.lonelyplanet.com](http://www.lonelyplanet.com)

<http://www.access-russia.com>

Russian Life Magazine. <http://www.rispubs.com/rlhist.cfm>